

総会資料4 令和3年度の活動計画（人材育成WG）

人材育成WGの取り組み（詳細）

- 1) 活動方針：ビジネスに気象データを活用できる人材育成活動の更なる進化と深化
 - ・ データ分析力の向上：分析対象の広がりによる進化。高度化と裾野拡大による深化
(テクノロジー研修、WXBCセミナー)
 - ・ ニーズ側とシーズ側の連携や協働の場づくり：対象分野の広がりによる量的進化。人的交流等による質的深化
(グループ別勉強会、地方展開)

2) 5年目の活動案（添付：参考資料1）

WXBCセミナー(オンライン開催) ～気象データ理解力の更なる向上を目指して～

今年度も新規気象ビジネス創出WGとの共同開催を継続し、気象データ編を担当・企画

- ・ 気象データ編として「アメダス気象データ分析チャレンジ！」ダイジェスト版（演習込み）を企画・実施

テクノロジー研修（オンライン開催）～IT活用力の更なる向上を目指して～（添付：参考資料2）

今年度開始予定の「気象データアナリスト育成講座」との棲み分けと連携で、更なる充実を図る

- ・ 裾野拡大のための研修を引き続き提供
- ・ 最先端の技術やデータを取り入れ、尖った研修を企画・実施（アンサンブル予報、中長期予報等）
- ・ 研修資料とノウハウを気象データアナリスト育成講座へ順次移転

地方展開・グループ別勉強会 ～ビジネス課題解決力の向上を目指して～（添付：参考資料3、4）

ニーズ側とシーズ側の連携・協働の場づくり、自主的・自発的な活動、人的交流の活性化で、地方と産業分野の人材育成を目指す

- ・ 地方展開：モデルケースづくり
- ・ 勉強会：
 - －活動中の5勉強会を継続
 - －新規勉強会の活動テーマ & 参加者募集・立ち上げ

命題：ビジネスに気象データを活用できる人材の育成

活動方針：活動の更なる進化と深化

挑戦：ニーズ側とシーズ側の連携・協働の場作り

気象データ活用でビジネスの課題解決

気象データアナリスト育成講座（2020年度試行、2021年度から開始予定）

ビジネス視点の講座（気象学×気象データ×データ分析）

課題解決力

ニーズ側とシーズ側の連携・協働

WG内グループ別勉強会

地方展開&モデルケース作り

気象データ

気象データ利用の裾野拡大

WXBCセミナー「気象データ編」

- ・気象データの種類・特性・最新情報等
- ・データ分析事始め

IoT、AI等の技術と気象データを
組み合わせた高度利用

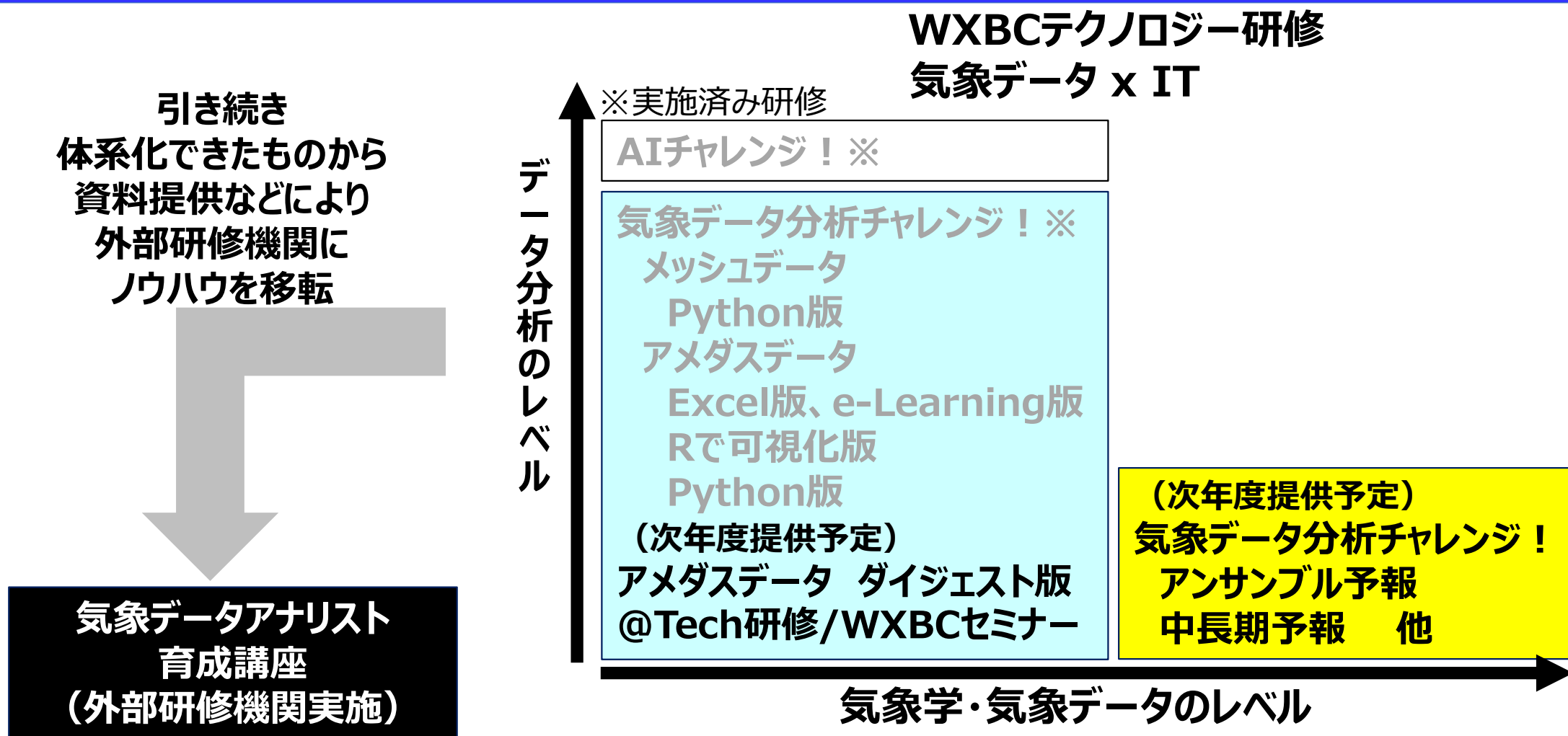
テクノロジー研修

- ・気象データ分析チャレンジ！AIチャレンジ！

2つのシンカと新しい挑戦で、次のフェーズへ

参考資料 2 :

～テクノロジー研修と気象データアナリスト育成講座の棲み分け・連携～



【気象データアナリスト育成講座】

- ・気象データアナリストに不可欠な普遍的、基礎的な知識を修得する場
(外部の研修機関による企画・提供)

【WXBCテクノロジー研修】

- ・裾野拡大のための研修を提供
- ・最先端の技術やデータを取り入れ、尖った研修を提供
(主催者と受講者の枠を超え会員同士が知見を磨く場)

参考資料3： ユーザー側とシーズ側の連携・協働の場構想①

農業勉強会の目指す姿



WXBC人材育成WGの方針

命題 : ビジネスに気象データを活用できる人材の育成
挑戦 : ニーズ側とシーズ側の連携・協働の場作り



農業勉強会の目標



CoP : Community of Practice

協働・共創の場(実践知・集合知コミュニティ)作り

気象/気候変動へ適応・緩和可能な農業を目指した実践コミュニティの場の提供

キーワード : Share Your Story

- ナラティブ (narrative) / ストーリー (story) を分かち合い、情報/アイデアを協働・共創する場の提供
- 地域毎に適応した「デジタル/アナログ栽培暦」と栽培知・経営知の構築の場の提供...各地域の『寺子屋』が必要。⇒各地域の農業大学校等との連携